



第 48 号 / 2024.3
発行 明姫幹線南地区まちづくり協議会 広報部会

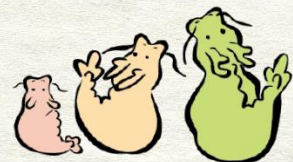
会長のあいさつ

春分の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より当協議会の活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

前年度に引き続き会長を務めさせて頂いております中森均でございます。伊保東部農会代表として協議会に関わっており、A地区のまちづくり協議会でも会長を務めさせて頂いております。

さて、明姫幹線南地区の動きとして、昨年度には C 地区からまちづくりを進めていくことが決定しました。本年度は C 地区のまちをよりよくしていきたいという志を持つたくさんの方に集まっていただき、議論を重ねてきました。来年度には、まちづくり準備団体を設立し現況調査などをしながらまちづくりを進めていきたいと思っております。

また、調整区域の農地につきましては、地域農業の将来を考える「地域計画」の策定が令和 7 年 3 月末を目標に進んでおりますので、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



明姫幹線南地区まちづくり協議会 会長 中森 均
明姫幹線南 A 地区まちづくり協議会 会長

第12回総会を令和5年6月25日に開催いたしました。

下記のとおり役員として承認されました。



中森会長あいさつ



新役員3名 (下記★印)

新役員名簿

○ 5役

役職名	氏名	備考
会長	中森 均	伊保東部農会代表
副会長	林谷 親雄	伊保西部農会代表
副会長	北野 益生	曾根町農会代表
会計	南 達男	公募
書記	宮宅 勇二	公募
会計監査	高谷 充治	伊保中部自治会代表
会計監査	山下 雅史	中筋東自治会代表
代表地区幹事	庄司 茂	中筋西自治会代表

○ 地区幹事

地区名	氏名	備考
A 地区	伊奈 哲夫	伊保東部農会代表
	中森 武比古	伊保東部自治会代表
	島津 良彦	伊保東部自治会代表
	★ 山脇 弘之	伊保中部自治会代表
	原 雅俊	伊保中部農会代表

B 地区	伊保 雅文	伊保西部農会代表
	青木 充弘	伊保西部農会代表
	★ 團野 真紀也	伊保西部自治会代表
	柴田 晃	中筋東農会代表
	北 弘吉	中筋東農会代表
	柴田 一也	中筋東農会代表

C 地区	★ 砂川 仁史	中筋西自治会代表
	本庄 捨伸	中筋西農会代表
	山本 鐵也	中筋西農会代表
	鎌田 康司	曾根町農会代表
	北野 哲行	曾根町農会代表
	前橋 瑞紀	曾根町農会代表

C 地 区 の ま ち づ く り

『まちづくり準備団体』の設立を目指して

本年度はまちづくり推進条例に基づいた「まちづくり準備団体」の設立を目指して、なかまづくりをしてきました。

本協議会からの呼びかけと広報での募集を行った結果、この C 地区のまちをよりよくしていきたいという思いで、以下のとおりたくさんの方が集まりました。

自薦・他薦により集まったメンバー ～まちづくり準備会 役員名簿(案)～

氏 名	備 考
庄 司 茂	中筋西自治会・地権者
砂 川 仁 史	中筋西自治会・地権者
本 庄 捨 伸	中筋西農会・地権者
北 野 益 生	曾根町農会・地権者
鎌 田 康 司	曾根町農会・地権者
北 野 哲 行	曾根町農会・地権者
前 橋 瑞 紀	曾根町農会・地権者
南 達 男	地 権 者
中 森 均	明姫幹線南 A 地区まちづくり協議会 会長
岡 本 崇 司	曾根東之町自治会
藤 井 一 也	曾根北之町自治会・地権者
砂 川 直 樹	居 住 者
砂 川 辰 義	居住者・地権者
松 本 賢 二	居住者・地権者
砂 川 孝 夫	中筋西農会・地権者
船 田 秀 之	事業者・地権者(鹿島興産株)
岡 賢 蔵	地権者(藤永不動産街)
奚 広 軍	事業者・地権者(株)金広商事

このメンバーは“自治会”や“農会”だけでなく、実際に住んでいる“居住者”や店舗・工場等の営業をしている“事業者”も参画されています。

また、地区外の方ではありませんが、この C 地区の中で将来的に土地活用をしていきたいという方にも参画いただいています。

C 地区まちづくりのスケジュール

まちづくり推進条例に基づいたまちづくりを進めていくにあたって、C 地区のまちづくり計画案を提出するまでのおおよそのスケジュールを確認し共有しました。



「まちづくり」と「都市計画」について学びました

そもそも「まちづくり」って何? 「都市計画」と何が違うの? というところからアドバイザーにも入っていただき話し合いました。

「都市計画」は、市街化調整区域や地区計画など行政が主体となって計画するものですが、「まちづくり」は、住民等が主体となって、C 地区の望ましい土地利用について学んで話し合い、課題を解決していくことです。

この C 地区では、住宅・農業・企業・環境などの様々な課題や魅力がある中で、どんなまちを目指すのか「都市計画」(行政主体)と「まちづくり」(住民等主体)の両輪で進めていきます。

農業の「地域計画」について

令和 7 年 3 月末を策定目標に地域の課題について話し合い将来の農地利用の姿を明確化する“地域計画”について、高砂市の産業振興課と農業委員会から説明いただきました。

本地区では、高齢化により農業が衰退し、虫食い状での転用が進んでいる状態です。来年度には、本地区においてもアンケート調査による農業の意向調査が行われますが、農業を続ける方も農地を手放したい方も将来の農業について、みなさんと話し合って考えていくことが大事ですね。



令和6年4月1日に 福祉総合相談センター がオープンします!!



〔施設概要〕

位置 伊保4丁目400番地
 利用時間 8時30分～17時15分
 休館日 土日祝・年末年始
 駐車場 22台

令和6年4月1日に 旧伊保幼稚園 が改修され 福祉総合相談センター がオープンします!
 この福祉総合相談センターは福祉の総合的かつ包括的な相談支援の更なる充実と、誰もがゆるやかにつながる多世代交流の拠点を目指します。

1階 - 1 「だれでも立ち寄りステーション」

年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが気軽に立ち寄れる交流拠点。市内の福祉団体や NPO、地域で活動している人たちとつながり、イベントの開催やカフェ交流スペースなどを設置します。



1階 - 2 障がい者基幹相談支援センター

曾根町から移転します。障がいのある人が安心して生活できるようにするための総合相談をお受けします。



2階 - 1 地域包括支援センター「いほ相談室」

高砂町にある地域包括支援センターの分室ができます。高齢者の介護、福祉・認知症の相談をお受けします。

2階 - 2 成年後見支援センター

4月から新しく設置します。成年後見制度の利用に関する相談と支援をします。

A 地区の地区計画内において、地区計画の整備計画に適合するものが建築することができます。

A 地区の地区計画内において土地活用を考えている方は、右の QR コードから「明姫幹線南 A 地区のまちづくり協定と地区計画」のパンフレットをご参照ください。

明姫 A パンフレット



第58回役員会を令和5年5月8日に開催いたしました。

承認、採決された内容を下記のとおり報告いたします。

令和4年度事業報告

- 役員会等・広報部会の開催
役員会2回、五役会5回、C 地区分会1回、広報部会1回
- A地区の活動状況
役員会3回、広報「みんなのまちづくり」第47号の作成

令和5年度事業計画

1. まちの将来像実現のための取り組み
 - (1) 協定違反物件防止活動
 - (2) 市街化調整区域にふさわしいまちづくりの推進
2. まちづくり協議会活動
 - (1) 役員会の開催
 - (2) 総会の開催
 - (3) 広報部会開催「みんなのまちづくり」の発行
 - (4) 行政および関係団体との連携・調整
 - (5) A地区のまちづくりの推進
 - (6) C地区のまちづくりの推進
3. その他・まちづくり協議会の目的達成のために必要なこと

令和4年度決算報告

収入額	331,867円
支出額	100,121円
	内訳
	印刷・広報費 9,319円
	通信費 89,250円
	消耗品費 1,552円
差引	231,746円 【令和5年度へ繰越し】

令和5年度予算

	353,000円
収入額	内訳
	繰越金 231,746円
	市助成金 100,000円
	広告料、その他 21,254円
支出額	353,000円

協議会の運営やまちづくりに関するご質問は、各地区役員及び事務局に遠慮なくお問い合わせ下さい。

明姫幹線南地区まちづくり協議会 事務局：高砂市都市創造部都市住宅室都市政策課

TEL:079-443-9033 FAX:079-443-9091

e-mail:tact3810@city.takasago.lg.jp